

2021年度の資金運用結果について

2021年度の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う行動規制が繰り返されるなか、世界各国で労働不足による供給制約が顕在化し、さらに原油をはじめとする資源価格が急騰しました。こうしたなか、欧米を中心にインフレ懸念が高まり、海外金利が上昇し、為替相場は円安が進みました。

このような投資環境において、「2021年度資金運用方針」に基づく資金運用に臨み、2021年度の有価証券の運用収益は5.9億円（利回りは0.9%）となりました。

以下に2021年度の運用結果についてご報告いたします。

1 国内債券

国内債券については、将来の金利動向を考慮しつつ、利回り確保の観点から償還債券の一部を原資に長期債を購入する計画とし、1%以上の利回りが確保できる銘柄を購入しました。

国内債券による運用収益は1.8億円となりました。

2 外国債券

外国債券については、将来の金利動向、為替動向を考慮しつつ、長期ゾーン（期間8～10年）でのラダー型ポートフォリオを構築する購入を計画していましたが、米ドル高（円安）が進んだことで一部銘柄の購入にとどめました。

外国債券による運用収益は2.1億円となりました。

3 株式等

株式等については、新たに国内株式運用及びマルチアセット運用の委託を開始しました。

株式等による運用収益は1.4億円となりました。

4 短期運用

短期運用については、3ヶ月ないしは6ヶ月の合同運用指定金銭信託を中心に預け入れをしました。

短期運用による運用収益は0.3億円となりました。

5 その他

仕組債等による運用収益は0.3億円となりました。

以上